

授業科目名	成人看護学概論	担当教員	松尾ミヨ子
必修	開講年次：2年前期	単位：2単位	授業形態：講義 30時間

【授業概要】

成人期にある人の生活や健康を包括的に理解するうえで、現代を生きる成人の健康生活を多角的にとらえ、成人期にある人を対象とした看護の基盤となる考え方や理論と援助方法を学ぶ。

【授業目的・目標】

1. 大人の多様な健康状態や健康問題に対応するための看護アプローチの基本的考え方や方法を習得するため、成人の看護を次の4つの視点から学ぶ。
①成人の発達段階の視点から見た生活と健康、②成人への看護アプローチの基本、③成人の健康レベルに対応した看護、④成人の健康生活を促すための看護技術。
2. 疾病の予防とヘルスプロモーションについての概念を追求し、それらに対する看護師の役割について論議する。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] 1. 成人看護学とは：本学のカリキュラム構成からみた成人看護学の枠組と授業展開、成績評価等
成人とは？成人看護学とは？
- [02] 2. 成人保健の動向
- [03] 3. ライフサイクルにおける成人と発達段階
- [04] 4. 成人期の健康障害
生活習慣に関連する健康障害
- [05] 5. 成人期の健康障害
感染・職業に関連する健康障害
- [06] 6. 成人を対象とした保健・医療・福祉政策
- [07] 7. 健康状態に応じた看護
1) 健康の維持増進
- [08] 2) 急性期・回復期の患者および家族
- [09] 3) 慢性期・終末期の患者および家族
- [10] 8. 健康の再構築：継続看護、退院支援、患者支援教育
- [11] 9. 成人看護における倫理的課題と看護師の役割
- [12] 10. 成人看護に用いる理論・モデル
セルフケア論・自己効力理論
- [13] 11. 成人看護に用いる理論・モデル
ストレス理論・ストレスコーピング・危機理論
- [14] 12. 看護過程：情報収集とアセスメント（事例での展開）
- [15] 13. 看護過程：問題の明確化、目標の設定、計画立案

【教科書】

成人看護学 成人看護学概論 第2版 NOUVELLE HIROKAWA 大西和子、岡部聡子編

【参考書】

図説国民衛生の動向 2017/2018 厚生労働統計協会／編集

【評価方法・評価基準】

課題レポート（20%）：課題提示またはミニテスト

定期試験（80%）

*授業出席回数が基準を満たさない場合、定期試験の受験資格を失うことになる

【講義のために必要な事前・事後学習】

指定の教科書を中心に授業を進めるので、予め読んでおき授業中に疑問点などを確認すること、事後はポイントとなる部分を整理し定期試験に備える。また本科目の国試問題（過去問）にも目を通すこと。

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ．教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅱ．質の高いケアを実践するためのリーダーシップ能力、Ⅲ．根拠に基づいた看護実践能力、Ⅳ．テクノロジーを効果的に活用する能力、Ⅴ．多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅵ．ヘルスプロモーションと予防に関する知識と実践能力、Ⅶ．国際的視野の育成と地域貢献能力、Ⅷ．生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートのフィードバックは授業の中で行う。定期試験問題の解答は何らかの形で開示する。

【備考】